

## 防除情報(病害虫情報 号外 第3号)

令和2年4月6日

### 果樹加害性カメムシ類による被害予想 「7月まではやや少ない予想」

- 主なカメムシは成虫で越冬します。春から夏にかけて果樹を加害するのは、前年からの越冬成虫です。
- 越冬成虫の数は増減を繰り返す傾向がありますが、今年のチャバネアオカメムシの越冬成虫数は昨年より少なくなっています(図1)。これは、カメムシ類の本来の餌である昨年のヒノキ等の球果量が少なく、新世代成虫が増加しなかったためと考えられます。
- 一方、ツヤアオカメムシのカンキツ樹上における越冬数は、昨年よりもやや多くなっています(図2)。
- 今年の7月までのウメ・キウイフルーツ・ナシなどのチャバネアオカメムシによる被害は、やや少ないと予想されますが、カンキツ園などの常緑広葉樹に隣接するほ場ではツヤアオカメムシによる被害には注意して下さい。

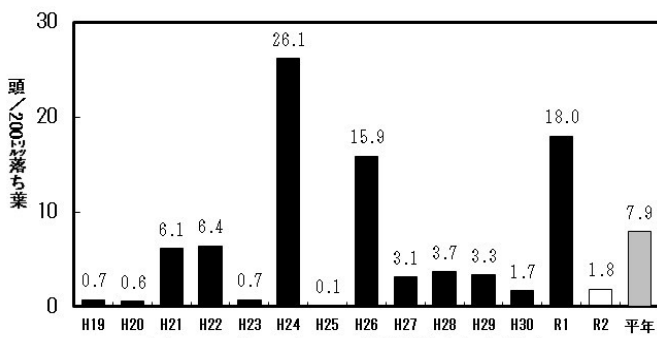


図1 チャバネアオカメムシ越冬数(湯河原・伊勢原)

\*平年は過去10年平均

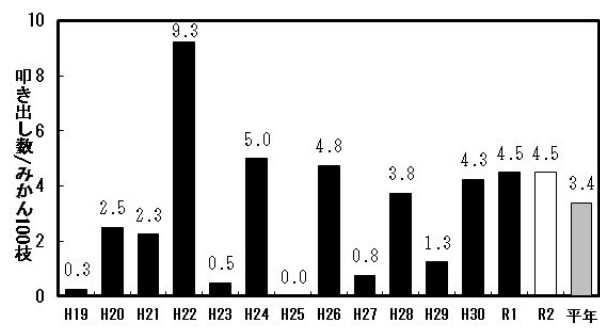


図2 ツヤアオカメムシ越冬数(4カ所平均)

\*平年は過去10年平均

#### 防除のポイント

☆越冬成虫が少ない場合、7月までの防除は、他の害虫との同時防除で対応できます。また、被害があっても摘果で対応できます。

☆果樹園への加害が少ない時は、天敵類を保護するため、合成ピレスロイド剤や有機リン剤の使用はひかえましょう。

☆カメムシは園外から飛来するため、物理的な防除法(防虫ネットの設置、袋掛け、忌避灯の早期点灯など)と組み合わせた防除対策を行きましょう。

#### 8月以降は餌の状況次第

・果樹加害性カメムシは、ヒノキ・スギの球果を餌として繁殖し、夏に新世代成虫へ世代交代します。

・8月以降の果樹園への飛来量や時期は、ヒノキ・スギの球果量や劣化程度に影響されますので、今後の予察情報に注意してください。

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333

インターネット <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>

○ 農業使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。